

春のアブラゼミ 第2日目 接続詞 and, but, or がつくる構造 (その1)

組 ( ) 番号 ( ) 氏名 ( )

(1)The myth of the hero is the most common and the best-known myth in the world. We find it in the classical mythology of Greece and Rome, in the Middle Ages, in the Far East, and among contemporary primitive tribes. It also appears in our dreams. (2)It has an obvious dramatic appeal, and a less obvious, but nonetheless profound, psychological importance.

【早稲田大学】

和訳

---

---

---

---

参考

- ・ myth=神話・伝説
- ・ common=普及した
- ・ classical mythology=古典的な神話集
- ・ the Middle Ages=中世
- ・ contemporary primitive tribes=現代に原始的な生活を営む種族
- ・ obvious=明白な
- ・ dramatic appeal=ストーリーとしての魅力・面白さ
- ・ nonetheless=それにもかかわらず
- ・ profound=深遠な、奥の深い
- ・ psychological importance=心理学的な重要性

英文の読み方

1. 前置詞＋名詞は他の部分から切り分けて形容詞か副詞かを考える。
2. and、but、or が出てきたら直後に注目し、直前に同じ形を探す。
3. a、an、the が出てきたら名詞を探す。
4. 助動詞の後ろには動詞がある。be～to や～to を助動詞考えれば簡単に動詞が見つかる。
5. 文中副詞の後ろには(一般)動詞がある。文中副詞のほとんどが「-ly」の形をしている。
6. 文頭に前置詞＋名詞があり、直後に動詞があれば、完全逆転型の倒置。
7. 文頭に否定語があり、直後が疑問文の並び方なら、疑問文型の倒置。
8. 省略は「同型反復」に注目すればすぐ分かる。
9. A of B が出てきたら「B が A する」「B を A する」「B の持つ A」「B という A」「A の B」を特定する。
10. that、-ing、to-が出てきたら「名詞」「形容詞」「副詞」を特定する。、-ing のコンマ(,)の省略に注意。

<見取図>

The myth of the hero is the most common and the best-known myth in the world.

The myth of the hero	is	{ the most common and the best-known } myth
A	=	B

We find it in the classical mythology of Greece and Rome, in the Middle Ages, in the Far East, and among contemporary primitive tribes.

We	find	it	{ in <the classical mythology> of<Greece and Rome> in the Middle Ages in the Far East and among contemporary primitive tribes }
S	V	O	C

It also appears in our dreams.

It	(also) appears	in our dreams
----	----------------	---------------

It has an obvious dramatic appeal, and a less obvious, but nonetheless profound, psychological importance.

It	has	{ an obvious dramatic appeals and a { less obvious but nonetheless profound } psychological importance }
----	-----	--

この英文和訳のポイントは

- ①等位接続詞が結ぶモノを正確に指摘できるか？
- ② (a + b) x 型の省略表現を見抜けるか？

です。難解な語彙や文構造は出てきません。①②に共通するのは接続詞が結ぶモノの発見ですね。

①英文を読むときには、必ず同じ手続きを踏んでゆくことをお勧めします。例えばこの等位接続詞の読み方ですが、

等位接続詞 and, but, or, nor があれば、それを○で囲み、直後の形や品詞に注目し、直前に同じ形や品詞を探せ！そうすればその等位接続詞が結んでいるモノが何と何かが判然とする。

という手続きを決めておきます。これは必ずやってください。下線部1には and がありますから、○で囲んでやって直後の形や品詞に注目します。すると[the+最上級形容詞]が来てるのが分かります。直前にも同じ形がありますね。

さて、これは等位接続詞とは関係がないのですが、英文を読むときのお決まりの手続きの1つとして覚えておいてください。それは

a, an, the の冠詞は名詞が被る帽子なのだから、a, an, the が出てきたら必ず名詞を捜せ！！

です。ここでは冠詞 the が出てきますから、the を被っている名詞を捜す必要があります。すると

{ the most common  
and  
the best-known } myth

の (a + b) x 型省略が浮き立ってきますね (②)。下線部2も同じように考えてみましょう。

and の直後の形や品詞に注目すると、冠詞の a と形容詞の less obvious ~ がありますね。その後ろは、but が出てきて面倒になります。ここで注目すべきは冠詞の a です。

{ 直前  
and  
a less obvious ~ }

じゃあ直前に注目しましょう。冠詞の an に形容詞の obvious dramatic と名詞の appeal があります。さっきやった「冠詞がでたら名詞を探せ」を思い出してください。ちゃんと「冠詞+形容詞+名詞」のセットができあがってますね。なら、and の直後にも同じ「冠詞+形容詞+名詞」のセットがなくてはいけません。ならば

{ an obvious dramatic appeal  
and  
a less obvious ~ importance }

じゃないかと推測がつかます。

次に but の直後に注目します。nonetheless は「それにもかかわらず」の意味のつなぎ語なので無視します。その後ろには profound ~ という形容詞がありますね。直前にも less obvious という形容詞があるので、but が結ぶのは下のように形容詞のセットだと分かります。

{ less obvious  
but  
[nonetheless] profound }

ここまで来てやっと下の形が見えてきます。

{ an obvious dramatic appeal  
and  
a { less obvious  
but  
nonetheless profound } psychological importance }

【全訳例】

(1) 英雄にまつわる神話は、世界で最も普及し、最も良く知られている神話だ。

(2) 英雄神話はストーリーとして明らかに面白く、しかもそれほど明白ではないのだが、それでいて奥の深い心理学的な重要性を持っている。